

# 静岡県和学校図書館

平成 27 年 1 月発行  
静岡県総合教育センター  
生涯学習推進室



子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであり、社会全体で積極的にそのための環境の整備を推進していくことは極めて重要である。

—「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」はじめに（平成 25 年 5 月）より—

本を読むという行為は知識や情報を得るいわゆるインプットの活動であると考えられがちですが、本を読んで思考力を深めるためには、読んで得たことを表出するアウトプットの活動が重要であると言われています。

読書のアウトプットの活動の一つとして「読書会」という手法があります。今回は、「読書会」の手法を取り入れた読書活動として、東京学芸大学で行われた大学生による「ビブリオバトル」と磐田南高校の実践を紹介します。

## 知的に楽しいビブリオバトルー「学校図書館げんきフォーラム@東京学芸大学」ー

「ビブリオバトル」とは、参加者（バトラー）が読んでおもしろいと思った本を、制限時間内に紹介し合い、聴いていた人たちで、読みたくなった本（チャンプ本）を選ぶというタイプの読書会であり、知的書評合戦とも呼ばれます。この「ビブリオバトル」という言葉は、立命館大学准教授の谷口氏による造語ですが、2009 年ごろから、高校生や大学生の間で行われるようになり、現在、全国的に広がりつつあります。今回は、この秋に「学校図書館げんきフォーラム@東京学芸大学」で行われた東京学芸大学の学生たちによる「ビブリオバトル」の様子を紹介します。

この日は 5 人の大学生がお薦めの本を持ち寄りました。その本を見せながら一人 5 分の制限時間で発表を始めます。本の内容はもちろんのこと、この本を読み始めた時期やきっかけ、作者について、そして本に対する自分の考えや思いを伝えます。中には、本の一節を読んで紹介するバトラーもいました。その後、2 分間で発表に関するディスカッションを行います。そして、全ての発表が終わったら、どの本が一番読みたくなったかを決めて、投票します。

本を紹介する人は、どのように説明したら本の魅力を説明できるかを考えて紹介することで、思考が耕されます。聴いている人たちは、本の紹介を聴いて本の魅力を知り、自身の読書の幅を広げることにつながります。

「ビブリオバトル」はこのように、知的に楽しい新しい形の読書会として、広がっています。現在は、学校だけでなく図書館やショッピングセンターを会場としても行われ、だれでも参加できるようになっています。また、「ビブリオバトル」は公式ルールや公式ホームページもあり、いつでも、どこでも行えるような読書会です。みなさん知的書評合戦「ビブリオバトル」を楽しんでみませんか。



## 高校生による読書活動「ホン・de・コミュニケーション」ー県立磐田南高等学校ー

県立磐田南高校では、本年度より国語科の教員が中心となって、生徒たちによる読書活動に力を入れています。この日は1年生の生徒全員で、初めての学年単位での読書活動「ホン・de・コミュニケーション」が行われました。

320名余りの生徒が一人一冊の本を手にして武道場に集合しました。この日の「ホン・de・コミュニケーション」はペアで行いました。手順は①自己紹介（HR、氏名、部活、出身中学）②本の紹介 ③本の内容等についての質疑応答です。代表生徒による実演の後、生徒たちは、言葉を選び、相手にうまく伝わるように、意欲的に本の紹介を行っていました。

磐田南高校の読書指導は、活動自体はシンプルですが、教師による細かい手立てが講じられていました。「ホン・de・コミュニケーション」に使う本は、5冊の指定図書の中から生徒が読みたい本を選んで購入し、10月中旬から朝読書の時間に読み進めます。購入にあたっては、保護者宛の文書にて、朝読書の趣旨等（基礎学力の向上、知識・教養の土台作り、一日の落ち着いたスタート）も伝えます。生徒たちは、朝読書の時間を使って読み終わると、読んだ本のお薦め度と感想を簡便な「読書レポート」に記録します。なお、指定した本は、国語科教員の間で選書を行ったものです。



【本の内容について語る】

中心となって実践している国語科の青島玲子教諭は、学年の教員全員が読書の意義や目的についての共通理解を持っていることが、こういった活動の効果的な実践につながるということを強調されていました。

磐田南高校では、昨年度より、1・2年生の有志により高校生直木賞を選ぶ活動も実践しています。3学期には、クラス毎の読書会も行われます。こちらは学校図書館主催の毎年の恒例行事で、学校図書館の活用、生徒の知的好奇心の育成におおいに役立っています。



いずれの取組からも、読んだ本について語り合うことにより、読書の世界が広がっただけでなく、コミュニケーションを取ることによる思考の深まりや表現の広がりが期待できることを感じます。

みなさんの周りの読書活動等の実践も、ぜひお寄せください。



静岡県総合教育センター 生涯学習推進室は **学校図書館を支援**します

困っていることや知りたい情報も、ありましたらぜひ御連絡ください。

- 1 配架の方法
- 2 選書の方法
- 3 図書の廃棄
- 4 いろいろな読書活動
- 5 ボランティアとの連携
- 6 年間計画の立て方 など

たとえば…!



<問い合わせ先>

静岡県総合教育センター生涯学習推進室

<電話番号> 0537-24-9715